

## 2021年大発会理事長挨拶

2021年1月4日

皆様、明けましておめでとうございます。

令和3年の大発会を迎えることができました。例年と比べますと、かなりソーシャルディスタンスをはかり簡素に行うこととなりましたことをお詫び申し上げます。お正月もコロナ感染症拡大を抑え込むため、自粛されて自宅で過ごされた方も多かったのではないかと思います。



(小池理事長)

本日も晴天に恵まれておりますが、皆様も穏やかなお正月を迎えられたことと存じます。

新年にあたり一言ご挨拶させていただきます。

さて、昨年の大納会でも申し上げましたが、コロナに翻弄された2020年でございました。札幌証券取引所としても不本意な活動の制約を強いられました。皆様も同じ思いであったと推察いたします。



今年は、コロナにつきましてもワクチンの普及が期待できますし、イベントも東京オリンピック開催等の明るい話題もございます。これらを活かしながら、

「手締め」  
日本証券業協会  
北海道地区協会 伊藤会長

皆様とご一緒に札幌証券取引所の業務を盛り上げて行きたいと思っております。

本日は、東京から和田内閣府大臣政務官にお越しいただいたほか、谷口北海道財務局長をはじめ、会員証券会社、上場会社など多くの皆様に足を運んでいただきました。お忙しい中、誠にありがとうございます。後ほど和田政務官に打鐘をお願いしたいと思っております。和田政務官は札幌証券取引所を監督して下さる金融庁の担当の内閣府大臣政務官という要職におられます。北海道の国会議員でございます。江別にお住まいの我々身近な議員でございます。個人的には、和田政務官の義父である町村信孝氏とは大学の同期であり50年にわたる親友でございました。町村氏におかれましては大変残念なことになりましたが、生前に顔を合わせた際、「次女の直子にお婿さんが見つかった。商社に勤めていて海外勤務の経験もあるし、俺と一緒にテニスも好きなスポーツマンなんだよ！」と自慢されていたことを思い出します。その和田政務官に令和3年の大発会に来ていただきましたので札証の鐘を打鐘し皆様方の願い事を叶えていただきたいと思っております。

本年も前途多難なこともあるとは思いますが、今年は札幌証券取引所として二つ、何とか叶えたい思いがございます。一つは北海道経済をマイナスの経済成長から是非プラスへ転換させたいというこ

と。もう一つは昨年、残念ながら札幌証券取引所での新規上場が途絶えましたので、今年は是非新規上場の企業を復活させたい、この二点を私としては何とか達成したいと思っております。皆様方それぞれ個人あるいは企業の願い事があると思いますので、和田政務官による札証の鐘の打鐘に合わせて今年の願い事が叶うように祈願していただきたいと思っております。

簡単ではございますが大発会に当たりましてご挨拶させていただきました。

本年もよろしく申し上げます。

札証の鐘「打鐘」  
「新型コロナウイルスの収束に向けて取組みつつ経済活動の両立を進めていきます」  
和田義明内閣府大臣政務官

